

親子歴史講座

「江戸時代の日時計とガイドマップをつくろう」

日 時 平成 25 年 7 月 27 日（土）・8 月 3 日（土） 2 日間
午前 10 時～正午
会 場 講堂

〔事業目的〕

夏休みに親子で歴史に親しむとともに、親子の対話の機会を提供する。

〔開催趣旨〕

江戸時代の旅の必需品であった日時計と道中図を作成することで、歴史に関心をもってもらう。

江戸時代の品川は、大半が農村地域であり、そこに住む人びとの暮らしを支えたのが、湧き水と多摩川の水を引いてきた品川用水だった。現在品川区には、大井の水神、原の水神池といった湧水池のほか、用水路が暗渠で残っている。平成 25 年度の親子歴史講座では、旅の必需品である「日時計」と、品川歴史館周辺の湧水池と品川用水の痕跡を探検できる「品川用水道中図」を作る講座を実施した。

第 1 回 受講者数 12 組 27 名

「日時計をつくろう」

内 容：今井金吾コレクション「諸国行程大日本道中指南車」に掲載された日時計をプリントアウトして組み立てた。

講 師：富川 武史（品川歴史館学芸員）

第 2 回 受講者数 9 組 19 名

「道中図をつくろう」

内 容：印刷した道中図を配布後、表紙・裏表紙とともに糊付けする。今も昔も絵図の折り方は複雑であり、一つでも折る順番を間違えると元に戻らないことを体験してもらった。

講 師：富川 武史（品川歴史館学芸員）